News Release

金沢大学
KANAZAWA UNIVERSITY

平成２６年９月２６日

各報道機関文教担当記者　　殿

平成 26 年度文部科学省
スーパーグローバル大学創成支援事業に採択

このたび，平成 26 年度文部科学省 スーパーグローバル大学創成支援事業において，本学から申請した以下の事業が採択されましたのでお知らせします。
つきましては，採択事業について，下記のとおり記者説明を予定しておりますので，ご案内いたします。

事業名：徹底した国際化による，グローバル社会を牽引する人材育成と金沢大学ブランドの確立

申請区分：タイプＢ　グローバル化牽引型

内　容：
金沢大学は，10 年後の本学の姿を次のように描く。

1. **独自のグローバル人材育成スタンダードに基づく国際基準の質の高い教育を提供する大学**
2. **世界で活躍する「金沢大学ブランド」の人材を輩出し，日本のグローバル化を牽引する大学**
3. **東アジアの地において世界の高等教育研究ネットワークの中核に位置する大学**

この姿を現実のものにするために，YAMAZAKI プラン 2014 を踏まえ，教育・研究・国際とガバナンスに対応する７つの基本戦略を立て，それに基づいた大学改革を学長の強いリーダーシップの下，断行する。

記

日　時：平成２６年９月２６日(金)　１４時３０分から(１時間程度)
場　所：金沢大学 特別会議室（金沢市角間町 本部棟５階）
説明者：山崎　光悦　学長
　　向　　智里　理事(総括・改革・研究担当)・副学長
　　柴田　正良　理事(教育担当)・副学長
　　山本　　博　理事(国際担当)・副学長
内　容：スーパーグローバル大学創成支援事業について

【本件に関するお問い合わせ先】
金沢大学研究推進部長　中島
TEL 076-264-6142

【広報担当】
金沢大学総務部広報室　北村
TEL　076-264-5024

平成26年度スーパーグローバル大学等事業
スーパーグローバル大学創成支援

大学名	申請区分	事業名	事業実施期間
金沢大学	タイプ B （グローバル牽引型）	徹底した国際化による、グローバル社会を牽引する人材育成と 金沢大学ブランドの確立	平成 26 年度～ 平成 35 年度

事業概要

本事業は、東アジアの知の拠点としての機能を今以上に強化するため、全学的な国際化を加速し、国際化に必要な大学改革を進めるための取り組みである。その結果としての10年後の金沢大学の姿を、（1）独自のグローバル人材スタンダード（KUGS）に基づく質の高い教育を提供する大学、（2）世界で活躍する「金沢大学ブランド」の人材を輩出し、日本のグローバル化を牽引する大学、（3）東アジアの地において世界の高等教育ネットワークの中核に位置する大学、と描く。

この姿を実現するため、教育・研究・国際とガバナンスに関する7つの基本戦略を策定し、それに基づいた大学改革を断行する。

① 国際基幹教育院を中心とした、KUGS に基づく金沢大学ブランド教育の実現
② 国際学類を先導モデルとした学士課程教育の国際化の加速
③ 研究力強化のための教育研究特区の設置と、国際化に対応した大学院教育研究の高度化
④ 国際教育研究ネットワークと金沢大学海外拠点の充実
⑤ タフツ大学 ELP 金沢サテライトセンターの設置と、英語教育の強化
⑥ 地域「超」体験プログラムと SGH との連携による地域のグローバル化の牽引
⑦ 学長のリーダーシップによる迅速かつ強力なガバナンス改革

こうした取り組みを、学長のリーダーシップのもと、全学一体となって推進し、大学の国際化・グローバル化の「金沢大学モデル」を確立し、広く地域の大学等への普及を通じて、我が国の国際化・グローバル化を牽引する。

スーパーグローバル大学創成支援について（平成 26 年度文部科学省予算の主要事項より抜粋）

我が国の高等教育の国際競争力の向上を目的に、海外の卓越した大学との連携や大学改革により徹底した国際化を進める、世界レベルの教育研究を行うトップ大学や国際化を牽引するグローバル大学に対し、制度改革と組み合わせ重点支援を行う。

徹底した国際化による，グローバル社会を牽引する人材育成と金沢大学ブランドの確立

金沢大学
KANAZAWA UNIVERSITY

金沢大学憲章

「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学」の位置付けをもって改革に取り組む

◯専門知識と課題探求能力，さらには国際感覚と倫理観を有する人間性豊かな人材の育成
◯北陸,さらには東アジアにおける知の拠点として，グローバル化の進む世界に向けて情報を発信

金沢大学の10年後の姿

独自のグローバル人材育成スタンダード（KUGS）に基づく国際標準の質の高い教育を提供する大学

本学が独自に定めた「＜グローバル＞スタンダード」に基づき,国際社会を生き抜く能力・体力・人間力を涵養する革新的な教育を提供

世界で活躍する「金沢大学ブランド」の人材を輩出し，日本のグローバル化を牽引する大学

地域や国を問わず知識基盤社会の中核的なリーダーとして活躍する「金沢大学ブランド」の人材を育成・輩出

東アジアの地において世界の高等教育研究ネットワークの中核に位置する大学

海外の卓越した大学との戦略的な教育研究連携によって,ｱｼﾞｱ―ｱﾒﾘｶ―ﾖｰﾛｯﾊﾟにまたがる高等教育研究ﾈｯﾄﾜｰｸの中核となり,国内外から多様な人材が集積

金沢大学＜グローバル＞スタンダード（KUGS）

Kanazawa University "Global" Standard

グローバル化が不可逆的に進行する現在の国際社会において大学憲章に掲げる
基本的な教育目標を実現するために，本学が育成する人材の具体的な姿

各人の立ち位置に課された人類の一員としての自己の使命を国際社会で積極的に果たし，
知識基盤社会の中核的なリーダーとなって，
常に恐れることなく現場の困難に立ち向かっていける
次の能力・体力・人間力を備えた人材を育成する。

1. **自己の立ち位置を知る**
2. **自己を知り，自己を鍛える**
3. **考え・価値観を表現する**
4. **世界と繋がる**
5. **未来の課題に取り組む**

金沢大学の特性を踏まえた特徴ある取組

10年後の姿を実現

本構想の目標

※数字は10年後の目標値

国際化関連

金沢大学の独自性の高い教育を世界中の学生が受けられるために

外国人教員及び海外で学位取得・教育研究歴をもつ教員の比率	50%（550人）
全学生に占める外国人留学生の割合	20%（2,200人）
日本人学生に占める留学経験者の割合	年間11.6%（1,080人）[単位取得870人，研究派遣：210人]
学生の語学レベル設定	TOEIC 760点，TOEFL-iBT 80点 相当
外国語による授業科目割合	大学院課程100%，学士課程50%
留学生への奨学金支給の渡日前通知の割合	71.4%（250人）
混住型学生宿舎への初年次留学生入居率	100%（600人）

ガバナンス改革関連

大学の全ての機能を強化・国際化するために

- 迅速かつ的確な意思決定
- 教員キャリアパスの複線化

教育の改革的取り組み関連

金沢大学ブランドの人材を輩出するために

- アクティブ・ラーニング適用科目：100%
- 学域学類制の進化

スーパーグローバル大学創成支援について

（参 考）

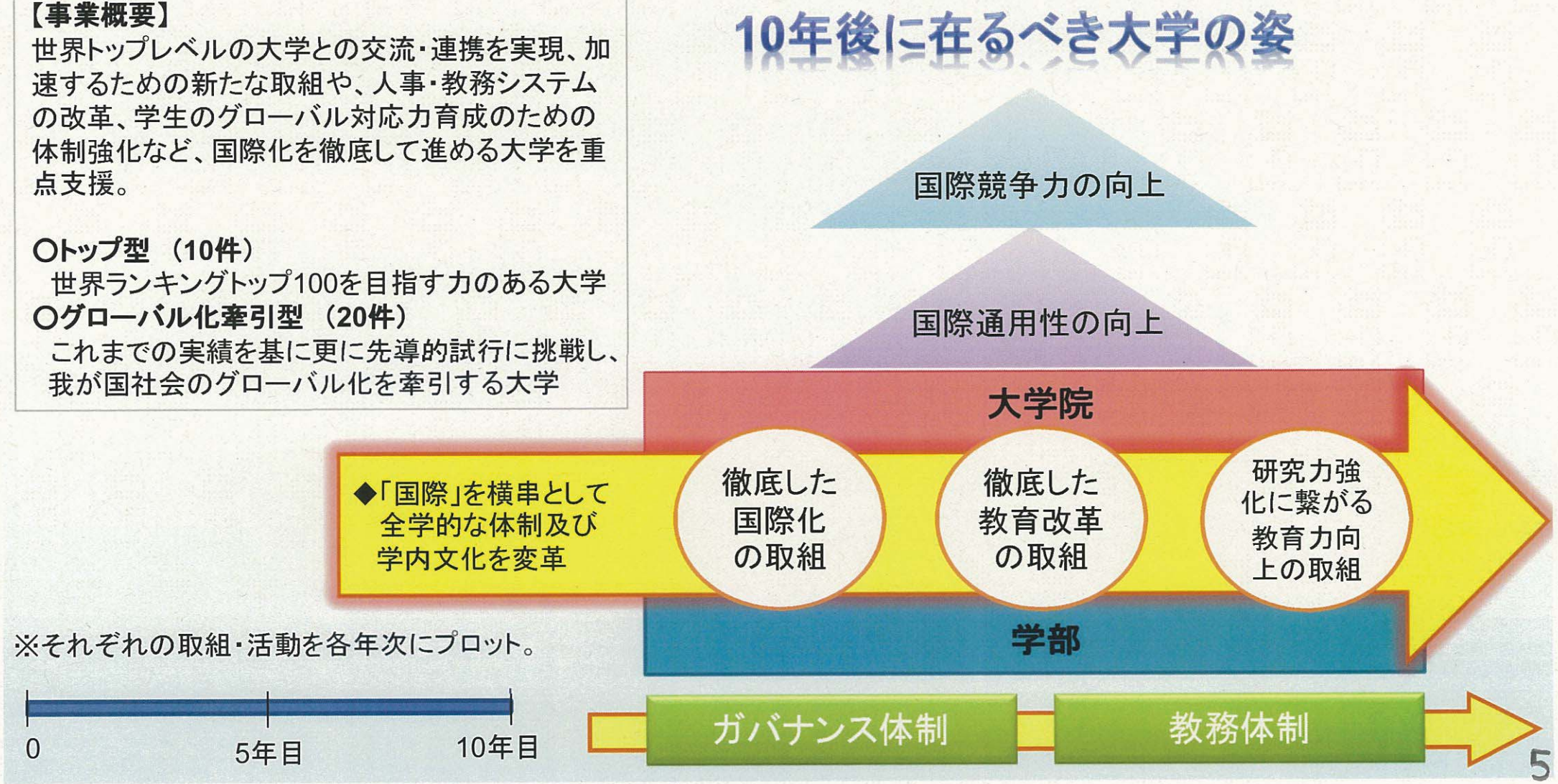
平成26年度予算額　77億円【新規】
ﾄｯﾌﾟ型：420百万円×10件、ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ化牽引型：172百万円×20件

【背景及び目的】

経済社会のグローバル化が進む中、我が国が今後も世界に伍して発展していくには、大学の国際競争力向上と、多様な場でグローバルに活躍できる人材の育成が不可欠。そのため、徹底した「大学改革」と「国際化」を断行し、我が国高等教育の国際通用性、ひいては国際競争力強化の実現を図る。

【事業概要】

世界トップレベルの大学との交流・連携を実現、加速するための新たな取組や、人事・教務システムの改革、学生のグローバル対応力育成のための体制強化など、国際化を徹底して進める大学を重点支援。

○トップ型　（10件）
世界ランキングトップ100を目指す力のある大学

○グローバル化牽引型　（20件）
これまでの実績を基に更に先導的試行に挑戦し、我が国社会のグローバル化を牽引する大学